



TITLE:

チャブリコフ教授の逝去を悼む(ひろば)

AUTHOR(S):

松原, 武生

CITATION:

松原, 武生. チャブリコフ教授の逝去を悼む(ひろば). 物性研究 1968, 10(3): 259-261

ISSUE DATE:

1968-06-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/86577>

RIGHT:

チャブリコフ教授の逝去を悼む

京大物理 松原武生

5月11日、ソ連の Zubarev 達の連名で下記のような手紙が届いた。

Dear Sir!

With deep sorrow we convey that on the 17th of March, 1968, after serious illness Prof. Dr. S.V. Tyablikov passed away at the age of 47. Prof. S.V. Tyablikov's death is a terrible bereavment for all of us as well as for many physicists involved in solid state physics. His name is particularly known among those who are interested in the Quantum theory of Magnetism and the theory and applications of Green's function theory. All of us grieve about this premature loss.

With respect,

Dr. D.N. Zubarev
N.A. Potapkov
Yu.G. Rudoy
E.V. Yakovlev

チャブリコフ教授が急逝されたという知らせである。

先に、ソ連の巨星ランダウ教授の訃報を悲しんだばかりであるが、チャブリコフ教授の死は私には大きなショックであった。それは仕事の上の深い関係だけでなく、個人的に三回の出会いを通じて、特別の親密の情が二人の間にあったからである。

私が、チャブリコフ教授に最初に会ったのは、1956年のシアトル会議の際である。その時ボゴリュボフ先生に率いられて数人のソ連の理論物理学者が参加していたが、その中でチャブリコフ氏の名前はまだそれ程知られていなかった。偶然、宿舎の大学寮のエレベータで一しょになった時、今夜部屋に遊びに来ないかと誘われたが、時間の都合がつかず、その夜は失礼した。英語が余り得意でない同志として、ビア・パーティーの時などよく私の側に来てはなれなかった。1960年ウトレヒトで開かれた多体問題の国際会議の時もボゴリュボフ先生と一しょに参加していた。登録手続をする席で顔を合わせて、手を握り合って再会を喜んだのもまだ記憶に新しい。この会議中も二人でよく行動を共にした。一夜私と福田信之氏と二人招かれてホテルの彼の部屋に遊びに行ったことがある。その夜は Galickij 氏と二人でわれわれを歓待してくれて、ウオドカの正しい飲み方を教わったり、互に家族の話をしたりして打ちとけた。それ以来毎年正月には年賀カードを交換するようになり、また彼がグリーン関数の応用や磁性理論の本を著したとき、ロシア語の本をすぐ送ってくれたりした。そして最後に会ったのが昨年9月ボストンで開かれた国際磁気会議の時である。この時は会場が多くて余り顔を合わす機会がなかったが、会議の終り近く、また夜、部屋に招待された。今回は小口武彦氏と一しょで、先方は Izumov 氏が同席した。今、私の手もとにその時小口氏がうつされた4人のカラー写真とチャブリコフ氏が私にくれたソ連製のチョコレート空箱が思い出として残っている。

チャブリコフ氏は日本人の論文をよく読んでいた。顔を合わせた時、いつも自分が今やっている仕事を詳しく教えてくれた。かつてスピン系のグリーン関数の研究をはじめていた私が、後に会って彼の仕事を教わり、自分の研究を断念したことがある。最近私の論文に刺戟されて強誘電体のこともやっているという話であった。

京都の会議でまた会いましょうというのが最後の別れの言葉であったが、遂に永久にそれはかなえられないことになってしまった。

(5月12日記)

ひろば

。久保研コロキウム

- 4/16 物性物理20年の回顧と展望 — 久保亮五氏
- 4/23 Green's Function Formalism of Hall Coefficients
— 和田 靖 氏
- 4/30 ガラス転移現象 — 杉崎昌和氏 (研究生)
- 5/7 Coexistence of Superconductivity and Ferromagnetism — 高田 慧 氏 (東大教養D3)
- 5/14 A Systematic Approach to the Problem of Random Lattices Taking into Account the Exclusion Effect — 米沢富美子氏 (京大基研)

。。基研ゼミ

- 5/11 ガラスの熱伝導度 — 松田博嗣氏 (京大基研)
- 5/25 輸送現象の分布関数によらない運動学的理論
— 康舜沢 氏 (基研, 研究生)